

1. 件名：「大間原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（112）」

2. 日時：令和3年10月28日（木）13時25分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職、松末技術参与

電源開発株式会社※ 原子力事業本部 原子力技術部 部長 他14名

※テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について（地震・津波関係）
- ・大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その14）
- ・大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その14）（補足説明資料）
- ・大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その14）（後期更新世に生じた変状に関わるボーリングコアの地質柱状図及びコア写真）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁の岩田です。お疲れ様です。
0:00:05	こちらメンバーそろってますのでヒアリングを開始したいと思いますがいよろしいでしょうか。
0:00:10	はい、電源開発タカオカでございますこちら準備完了しておりますので、よろしくお願いたします。はい。それではですね資料の説明からお願いたします。
0:00:23	はい、電源開発原子力技術部の高岡でございます。本日は敷地の地質地質構造、地質構造のうち、CMS11 変状に関わるコメント回答になります。
0:00:35	本年 6 月 25 日の審査会合でのコメントに回答する形で資料化してございます。是非とも我々の希望といたしましては、早期に審査会合で審議いただきたく考えておりますのでよろしくお願いたします。
0:00:49	本日御用意した資料の確認をさせていただきます。
0:00:54	右上にですね。Cへ 157 から 159 と記載した 3 冊とあとコメントリストになります。
0:01:04	そのうちコメントリストですね、本日、御説明する事項について、念のため確認させていただきます。
0:01:12	22 分の 21 ページをご覧ください。
0:01:18	で、
0:01:19	6 月 25 日の第 986 回審査会合でいただいたコメント、下水の 144 から 149 の回答について御説明いたします。
0:01:32	その中で特にはですね、146 と 147 番、これは岩盤性状の分析ですとか、基礎地盤側面の断面増複数示すことっていうそういうコメントでございます。
0:01:47	これに関わって追加ボーリング調査分析を行った結果を資料化してございます。
0:01:54	また、148149 性に関わる部分につきましては、追加の薄片観察を加えております。
0:02:03	さらに 145 番の解釈別記聞いていらした評価をですね、コメントにはなってございませんけども、審査会合でのナカムラの審査官とのやりとりで、数十 1 が cf3 断層に切断された箇所深で活動性がない範囲、
0:02:22	そういったものを示す。
0:02:24	というのがございましたので、こういったところも含めて資料全般にわたって、かなり手を加えてございます。
0:02:32	そういった内容で資料を御説明させていただきますが、まず初めにですね、ちょっと設計の進捗によって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:42	一番の重要施設のレイアウトが少々変更となった点についてご説明させていただきます。
0:02:49	本編資料のローマ数字の 3 ページをご覧ください。
0:02:57	で、
0:02:58	中段付近にその辺り書いてございますけども、これまでご審議いただいたcf断層系、dF断層系 12 枚のシームと重要施設の位置関係ですが重要側面重要施設の基礎地盤側面に分布するのは、
0:03:14	数十 1 のみでこれまでご審議いただいた
0:03:20	審議結果我々の評価に影響はない範囲での施設のレイアウト変更でございます。具体的には資料の 1-6 ページをご覧ください。
0:03:33	こちらに重要施設の配置の変更前と変更比較して示してございます。
0:03:42	てこれらの変更箇所と理由について、施設担当の伊ワタ部長が本日同席しておりますので、まず簡潔に御説明させていただきます。
0:03:55	はい。
0:03:55	施設担当をします伊ワタと申します。よろしく申し上げます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

<電源開発(株)による商業機密あるいは防護上の観点から公開不可としている箇所に関する説明であることから、非公開とします。>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:45	変更点の説明、以上です。
0:07:49	はい。低減化シタカオカでございます。引き続きAコメント回答の地質の部分について担当の西尾主任からこうさせないいたします。御説明時間は 55 分か今日予定しております。
0:08:05	ちゃんとよろしく申し上げます。
0:08:12	はい。
0:08:14	はい、電源開発の西勝です。よろしく申し上げます。
0:08:18	本編資料のローマ数字 1 ページをご覧ください。
0:08:24	本日の説明ではホームページに示します指摘事項に対する回答を中心に御説明します。
0:08:30	ローマ数字 2 ページがコメント回答の経緯です。
0:08:34	本日御説明の後期更新世に生じた変状に関連するコメント回答の経緯を着色しております。
0:08:41	今回の説明として、右下の比四角書き変状について、前回会合での指摘を踏まえ、重要施設での位置関係、変状の有無によるS11 付近の岩盤性状変状の形成要因等に関するデータや論理構成を再整理し、
0:08:58	S11 について、規則の解釈別記 2 に照らした評価の考え方を見直しました。
0:09:04	それに基づき再評価した結果を御説明します。
0:09:07	ローマ数字 3 ページが主な変更内容です。
0:09:11	まず、規則の解釈別記 2 に照らしたS11 の評価について、前回会合において変状生じさせた岩盤中の断念のⅡのうち、S11 の一部を返上弱面都市SGとは区別して評価することを説明しました。
0:09:27	今回、規則の解釈別記 2 に照らしたS11 の評価について指摘を受け、
0:09:32	評価対象をS11 として区別せずに評価することとし、それに伴う修正を下の表の通り行います。表見ていただきまして、まず評価対象については、S11 件上弱面と区分して評価していたもの。
0:09:48	天井弱面を取り止めS11 として評価し、用語の使い方につきましては、深部のS11、地表付近のS11 としていたものを、シームS11 としまして、通常が表示、主に 3 ポツ 3000 の表示ですが、こちらについては、
0:10:04	前回会合までシームの有無にかかわらず、シームS11 層準FT5-3 として表示していたものを今回シームの有無等により詳細区分して表示します。
0:10:15	また、前回までS11 と天井弱面が繋がるように表示していましたが、今回、観察事実を踏まえ、S11 はPS1 が最新面に重なるよう表示しております。
0:10:26	次に、重要施設の配置計画につきましては先ほど御説明させていただきました通りですので割愛します。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:34	ローマ数字 4 ページが今回資料の説明骨子です。
0:10:41	シームは細流凝灰岩に狭在する粘土質の薄層であり、地層に平行に分布し、性状の類似性が認められます。
0:10:48	地表付近のs1011 の上載層である第 4 系と、その直下の岩盤には一部の箇所に変形後期更新世に生じた変状が認められます。
0:10:58	代表シームであるS10 は断層との切断関係から後期更新世以降の活動がないと判断されるもの。
0:11:05	地表付近が第 4 系及びその直下の岩盤と管板に変位変形が一部の範囲で限定的に認められることから、ほぼこの部分の活動性は否定できません。
0:11:17	しかしCも含む易国間層や大間層は盆状に分布し、地下深部には連続しないことから、少なくとも島震源として考慮する活断層ではありません。
0:11:27	シームの評価は重要施設との位置関係から三条と四条対象に仕分けをします。
0:11:33	重要施設の基礎地盤に分布しない四条対象のシームS1 から 10OMが該当します。
0:11:39	そのうちの代表シームであるS10 は地表付近では、第 4 系の変位変形が一部の範囲で限定的に認められるもののチームは大好き断層との切断関係から後期更新世以降の活動がないこと等から震源として考慮する活断層ではありません。
0:11:55	重要施設の基礎地盤に分布する三条対象のシームS11 のみが該当します。
0:12:01	S11 断層との切断関係から後期更新世以降の活動はありません。
0:12:06	よって、重要施設は将来活動する可能性のある断層等が露頭しない地盤に設置します。
0:12:12	SG地の地表付近の一部に認められる変状はS11 の活動とは別の地表付近の一部の範囲に限定される現象であると判断されます。
0:12:23	変状の形成に関与した弱面のうち、定格の変位を伴う不連続面、P系による変位は、
0:12:29	炎上も変状の形成に関与したS11 の最新面、PS1 による変位の付随事象と判断され、分布範囲の検討及び岩盤性状の分析からPS1 棟は重要施設の基礎地盤に分布しないことが確認されました。
0:12:45	なお、変状の形成要因について、必ずしもすべてを説明できるものではないかもしれませんが、断層活動とは別の岩盤の風化に伴う防潮地震動による自動的な作用等の複数の要因が可能性として考えられます。
0:13:00	従って、シームを基準に照らして重要施設の安全上問題となりません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:06	数字 6 ページが目次となります。本日の御説明範囲を赤枠で示しております。少し飛びますが、3-23 ページを見開きをご覧ください。
0:13:19	ここからが参照シームです。
0:13:23	まず 3-2 ページがシーム全体の流れでして、大きな流れとしましては、前回、前回会合から変更はございません。
0:13:31	それがはオレンジのフロー3 ポツ 1 シームの調査及び評価方針ではシームの認定から三条四条対象市のシームに仕分けるところまでを御説明します。
0:13:41	次にミツイカ受OMについては、左下の水色のフロー。
0:13:46	3 ポツに、重要施設の基礎地盤に分布しないと、第 4 条対象のシームの評価、S11 につきましては、右下のピンクのフロー3 ポツ 3 重要施設の基礎地盤に分布する第三条対象のシームの評価で、それぞれ基準適合性を評価します。
0:14:01	これらを踏まえ、3 ポツ読んでシームの評価をします。
0:14:06	3-3 ページが、今回資料でポイントとなる用語につきまして、各論に入る前に用語の解説として一覧表にまとめたものです。
0:14:14	前回会合から変更追記した箇所を中心に御説明します。
0:14:19	まずシームS11 ですが、4 行目以降ですが、今回、シームS11 層準FT-3 は、①S11 が認められる部分 0 にS11 が認められず、滞留凝灰岩のみ認められる部分③S11 も左右業界はもう認められない部分。
0:14:35	の三つに区分することができ、このうち①CMS11 とします。
0:14:40	その下の変状の形成に関与していない、シームS11 の最新面とは、
0:14:46	現状の形成に関与しておらず、中から期中新世に形成されたと判断されるS11 の最新面を言います。
0:14:54	次に、変状の形成に関与した弱面ですが、下記のPS1 とPKOいます。
0:15:01	地表付近の上下盤が強風化部となっているS11 付近の変状が認められる部分にあり、後期更新世に形成されたと判断されます。
0:15:10	資料中ではPS1 棟とも表記します。
0:15:15	PS1 とは地表付近の岩盤の中で変状が認められる部分にあり、変状の形成に関与したS11 の最新面をいます。
0:15:24	TDKとは地表付近の岩盤の中で変状が認められる部分にあり、主としてS11 下盤の成層構造が発達する部分に分布する変状の形成に関与した計画の変位を伴う不連続面オオイます。
0:15:38	PS1 棟の評価上の分布範囲とはPS位置等と重要施設との位置関係の評価するため、保守的に設定した範囲です。
0:15:47	3-5 ページがシームシームの調査及び評価方針の流れです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:58	3 ポツ 1 ポツ位置でシームの認定を行い、3 ポツ 1 ポツ 2 で、検討対象シームの選定を行います。
0:16:04	3 ポツ 1 ポツ 3 でそれらシームの分布性状変位センスを検討し、3 ポツ 1 ポツ 4 地表付近で見られるシームの特徴では、第 4 系に一部の箇所では変形が認められる形状があり、これを返上としまして、その分布について地形判読等を検討します。
0:16:21	ここまでは前回会合から変更ございません。
0:16:25	次に 3 ポツ 1 ポツ後で検討対象シーム 12 枚から代表シームを選定し、シームの活動性評価をします。
0:16:33	そして、送受 11 の地表付近の一部で変状が認められることから、3 ポツ 1 ポツ 6 でシームの評価方針を示します。
0:16:43	変わってないところは少し割愛させていただきまして、3-7 ページから 10 ページがシームの認定です。
0:16:49	で、3-12、13 ページが検討対象シームの認定でして、3-15 ページからがシームの分布性状変位センスです。
0:16:58	3-20、21 ページをご覧ください。
0:17:03	本ページはコメント S2-144 番のコメント回答でして、
0:17:09	チームが地層に平行に分布する易国間層の分布状況、検討する上で、一つの根拠としています、屈折法地震探査における速度構造今回資料に掲載いたしました。
0:17:21	次に 3-34 ページからが地表付近で見られるシームの特徴です。
0:17:26	こちらは変更していないところが多数ですのでちょっとページの読み上げだけになります、3-36 ページが検討方針です。
0:17:35	3-38 から 42 ページが地形判読結果でして、3-43 から 45 ページが掘削面地質観察です。観察の結果です。
0:17:44	3-46 ページからが詳細地質観察でして、図のオレンジの箇所を実施しました。
0:17:50	3-47 ページからがその結果でして、3-51 ページ。
0:17:55	これが異常を踏まえた変状の定義となります。
0:18:01	図中の①から⑤に示す S10、11 付近の岩盤とその直上の段丘堆積物に認められる変位変形を示す形状等を後期更新世に生じた変状といいます。
0:18:14	3-52 から 54 ページがまとめです。
0:18:20	3-55 ページからが、次、続きましてシームの活動性評価です。
0:18:25	3-56 ページ、こちらで 12 万円の検討対象シームから代表シームを選定しまして、3-57、3-58 ページで断層との切断関係を示します。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:37	3-59 ページがまとめです。
0:18:40	24 角で書いているところですが、代表シームであるS10 はdfM3 断層との切断関係から後期更新世以降の活動はないと判断されるもの。
0:18:51	地表付近では、第 4 系及びその直下の岩盤に変位変形が一部の範囲で限定的に認められることから、この部分の活動は否定できません。
0:19:00	しかし、シームを含む易国間層や大間層は盆状に分布し、地下深部には連続しないこと、少なくとも連続しないことから、少なくとも、シームは震源として考慮する活断層ではありません。
0:19:15	3-61 ページがシームの評価方針です。
0:19:19	その 62 ページが重要施設とシームとの位置関係です。
0:19:26	S1 から 11OMについて重要施設との位置関係から評価方針を検討します。
0:19:32	今回重要施設の廃止配置の見直しに伴いまして、第 1 フィルタベント建屋から空冷式発電機建屋までの連絡トレンチの重断面X-X3'断面を新規で追加しております。
0:19:47	3-65 ページをご覧ください。
0:19:51	本断面が新規追加しましたX3X3'断面です。
0:19:56	第 1 フィルタベント建屋から空冷式発電機建屋連絡トレンチの基礎地盤にシームの露頭はございません。
0:20:04	3-66、66 ページがまとめです。
0:20:09	S11 番重要施設の基礎地盤に分布し、その他分布しません。
0:20:13	よって、S1 から 10OMは第 4 条対象として、3 ポツ 2 で評価します。
0:20:18	S11 は、第三条対象として、3 ポツ 3 で評価します。
0:20:23	3-68 ページが第 4 条対象のシームの評価の流れです。
0:20:29	本校は前回会合からデータロジック等の変更はございません。
0:20:35	3 ポツ 2 ポツ 1、S1 から 10SOMの評価方針でSGを代表シームに選定し、3 ポツ 2 ポツ 2 で基準適合性の評価をします。
0:20:45	3-75 ページがまとめになります。
0:20:51	第 4 条対象であるS1 から 10Omは震源として考慮する活断層に該当しません。
0:20:57	従って、第 4 条対象であるこれらシームを基準に照らして重要施設の安全上問題となりません。
0:21:04	3-77 ページからが、
0:21:07	S、
0:21:08	11 の調査評価の流れです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:14	示しております左側の縦の流れがこちらがメインの流れとなっております、3ポツ3ポツ1、S11の評価方針を踏まえまして、3ポツ3ポツにS11の分布の特徴を検討します。
0:21:28	次に3ポツ3ポツ3S11の活動性評価では断層との切断関係変位センスの結果から、S11の評価を行います。
0:21:38	そして、右から横入りで3ポツ3ポツ4s11の地表付近で認められる変状の検討、これが合流しまして、最後、3ポツ3ポツ5S11の基準適合性の評価を行います。
0:21:52	3-79ページがS11の評価方針です。
0:21:57	S11については、以下の①から③の方針に基づき、S11が将来活動する可能性のある断層等に該当するか否かについて、基準適合性を評価します。
0:22:08	まず、S11の評価につきましては①S11は横断する変位基準との関係から最終活動時期及び戦争検討します。
0:22:18	S11の地表付近の評価につきましては、②、
0:22:22	地表付近の変位変形について上載層の変位変形の有無分布形成時期等を検討の上、変状の分布等を検討します。
0:22:31	③現状が分布するしない箇所付近の岩盤性状分析し、重要施設の岩盤と比較します。
0:22:39	3-81ページからがS11の分布の特徴です。
0:22:44	まず検討方針です。
0:22:46	S11の分布の特徴について、以下の四つのポツで示しています通り、S11の分布の検討S11の層圧についての検討S11の有無の詳細検討、そして重要施設付近におけるS11の分布、
0:23:01	この検討を行います。
0:23:03	3-82ページをご覧ください。
0:23:08	まず、図11の分布性状についてです。
0:23:11	3ポツ1ポツ3での検討結果をs11について再度整理しますと、
0:23:17	S11の分布は断続的です。
0:23:20	S11番平均厚さが1.5cmと層圧が薄く、検討対象シームの中でも層厚が薄いです。
0:23:27	これらS11の分布性状を踏まえまして、S11を詳細区分したのが次の3の83ページです。
0:23:35	S11の有無等により、表に示す①から③に詳細区分しました。
0:23:40	まず、①がS11あります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:43	模式図で示します通り嘘薄緑色のファン海食火山礫凝灰岩中に黄色で示す際流凝灰岩FT5-3 に挟在する粘土質の薄層として赤線で示しますS11 が認められます。
0:23:58	②シームS11 なし左右凝灰岩ありです。
0:24:03	一般退職火山礫凝灰岩中に、歳入凝灰岩は認められますが、シームは認められません。
0:24:09	③S11 なし左右業界がなしです。
0:24:13	バン海食火山礫凝灰岩中に黄緑色の貯留凝灰岩や緑の点線で示すようりが発達した部分は認められますが、滞留凝灰岩シーム。これは認められません。
0:24:26	これらの写真での例を模式図の下に示しております。
0:24:30	先にその 8485 ページで、これら①から③の区分を用いて重要施設との位置関係を検討します。
0:24:38	敷地内におけるS11 の有無を詳細検討すると、凡例に示します①から③に区分することができます。
0:24:46	このうち、赤丸赤丸で示したS11 ありと緑、青丸で示したS11 が市でかたち形づくられる領域に基づいて作成したのが図中のオレンジハッチで示しましたS11 が分布する範囲です。
0:25:02	S11 の分布は断続的でしたオレンジハッチで示した分布範囲も限定的です。
0:25:08	なお、このは、この範囲の設定の考え方については、補足説明資料 13-27 ページに掲載しておりますので、適宜御参照ください。
0:25:19	3-86 ページがまとめです。
0:25:23	シームS11 は、層圧が薄く断続的に分布し、その分布範囲は限定的です。
0:25:29	3-78 ページからは、S11 の活動性評価です。
0:25:33	3-89 ページが検討方針です。
0:25:37	3 の 90 ページから 100 ページまでが断層との切断関係でして、3-101 ページが変位センスです。
0:25:45	それでは 3 の 100 ページをご覧ください。
0:25:51	前回会合でCF3 断層とシームS11 との関係について、CF3 断層に切られた箇所深のS11 が、敷地内でどのように分布しているかという御質問に対しまして、前回会合の資料では、ご理解いただきにくかった。
0:26:07	行きいただきにくかったこともありまして、今回示し方を再考しております。
0:26:12	SG1 が弱風化部で後期更新世以降の活動がないcf3 断層によって切断されており、それより深部では少なくとも活動はないと判断されることから、新鮮部中にS11 が認められる班員を図の水色のハッチで

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:28	シームS-11 がcf3 断層に切断され、後期更新世以降の活動がない範囲として示しております。
0:26:36	以上の検討を踏まえ、3-102 ページがまとめです。
0:26:44	SG1 は後期更新世以降の活動がないしF3 断層に切断されており、変位センスの検討からも後期更新世以降の活動はないと判断されます。
0:26:54	次に3の105 ページが、
0:26:57	S11 月表付近に認められる変状の検討の流れです。
0:27:03	まず、オレンジ色のフロー3 ポツ3 ぽつ4 ポツ1 でS11 が地表付近に認められる変状の地質観察を行い、次に、
0:27:12	白色塗り潰し部分3 ポツ3 ぽつ4 ポツ2s11 の地表付近に認められる変状の分布範囲等の検討として、紫色のふる(1)PS1 及びPD系の分布の検討します。
0:27:26	次に、横入りで黄緑色のフロー括弧に変状の形成メカニズムを検討します。
0:27:32	さらに参考として変状の形成要因についても検討しましてコメントS2-148、149 の回答します。
0:27:40	最後に水色のフロー、(3)PS1 及びPD系の分布の評価を行います。
0:27:46	ここまでの流れは前回会合で御説明したのから変更ございません。
0:27:50	今回、PS1 及びPD系の分布の評価の後に新たに緑色のフロー3 ポツ3 ぽつ4 ポツ3 重要施設の基礎地盤にS11 が分布する付近の岩盤性状の検討を行います。
0:28:03	ここでS2-146147 の回答します。
0:28:08	3の107 ページが、オレンジ色のフローの詳細の流れについてです。
0:28:15	SGチューブの地表付近の減少について詳細地質観察結果をもとに分布船長分布性状変位センス等について検討します。
0:28:25	こちらデータ等を前回から変更ございませんので、少し割愛させていただきまして、3-119 ページをご覧ください。
0:28:37	詳細地質観察の結果をもとに、分布性状変位センス等について検討しました。
0:28:43	S11 の地表付近ではバンの情報への変位、図中に小さく黒マルで囲んだ箇所と上に凸の形状の変形矢印で示した部分が認められます。
0:28:56	変状図1の四角枠の範囲、これは、
0:29:00	第四期に県が確認される箇所付近に分布するS11 の一部や、
0:29:05	岩盤面に上に凸の形状の変位変形が確認される箇所付近に分布する低角の変位を伴う不連続面といった既存の弱面の一部を利用し、新たに岩盤に変形が生じることにより形成されたものであると考えられます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:21	地表付近の岩盤の中で変状が認められる部分にあり、現状の形成に関与したS11の最新面図1及び右の概念図中の赤線の部分、これをPS1とします。
0:29:33	地表付近の岩盤の中で変状が認められる部分にあり、変状形成に関与した計画の変位を伴う不連続面、
0:29:41	図1及び右の概念図中でオレンジ色の線で示したもの、これPd系とします。
0:29:48	変状の形成に関与した弱面のうち主たるものはPS1であり、これに付随して編集したと考えられるTDKは付随事象として扱います。
0:29:57	次に3-121ページがPS1及びTDKの
0:30:01	分布の検討の流れです。
0:30:07	こちらも前回会合から検討の流れデータ等の変更はございません。
0:30:12	PS1の分布範囲を明らかにし最終活動時期は異なるS11と異なるため、SES特別するため、詳細地質観察等もとに検討します。
0:30:23	まず(1)PS1棟の変状の形成FP
0:30:29	PS1棟と変状の形成に関与していないS11の最新面等の分析では、S1と変状の形成に関与していないってす11の最新面、
0:30:40	並びにTDKと定格の変位を伴う不連続面の性状を比較します。
0:30:45	次に(2)PS1とページ系の分布の関係ではPS1とB系の分布について4通りに区分して検討します。
0:30:54	片括弧3PS1の分布範囲の検討では変状の有無とS11の地表付近に分布する岩盤の性状の違いを検討します。
0:31:03	最後にこれらを踏まえ、片括弧4PS位置等の分布のまとめです。
0:31:08	3-122ページからが、
0:31:11	また(1)PS1棟と変状の形成に関与していないS11の最新面等の分析です。
0:31:18	こちらデータ等変更ございませんので、ページの読み上げですが、3-124ページから127ページが、試料分析の位置でして、3-128から3Aと131ページまでがCT画像による最新面の性状です。
0:31:36	3-134から140ページが条線観察とSEM観察の結果です。
0:31:42	3の141ページが条線方向の比較です。
0:31:46	以上を踏まえ、3-143ページがまとめです。
0:31:50	結果を表に示しております。
0:31:52	CT解析、条線観察及びSEM観察からPS1と変状の形成に関与していないS11の最新面の性状には異なる傾向が認められ、両者区別できると判断されます。
0:32:05	条線観察からTDKと定格の変位を伴う不連続面にも同様に正常に異なる傾向が認められ、両者は区別できると判断されます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:16	3 の 144 ページからが、片括弧にTS1 とP系の分布の関係です。
0:32:23	模式断面図に示します①から④の位置で検討します。
0:32:28	3 の 145 ページが観察位置です。
0:32:31	図に着色した箇所を例として、PS1 とPD級の分布のも、次ページ以降で整理します。
0:32:37	それらの結果のまとめが 3 の 154 ページ。
0:32:42	になります。
0:32:44	PS1 とページ系の分布の有無を表 1 に整理しました。
0:32:49	黄色で示す①のみ分布します。
0:32:52	したがって、PD系はS11 が分布しない地表付近及び
0:32:57	地表で位置には分布しません。
0:33:00	TDKはPS1 と必ずセットで分布し、PTAのみが分布することはありません。
0:33:06	3 万 155 ページからがB系の分布範囲についてです。
0:33:11	B系の分布範囲については、図にオレンジ色で着色した箇所で検討します。
0:33:17	3-156 ページから 158 ページが、各箇所での観察結果となります。
0:33:24	それを踏まえまして、3 万 159 ページがまとめです。
0:33:30	ピークは主としてPS1 下盤の成層構造が発達する部分に分布が限定され、その下限までは分布しません。
0:33:39	160 ページが、片括弧に全体のまとめです。
0:33:43	以上より、TDKの分布はPS1 の近傍に限定されることを踏まえ、
0:33:49	PS1 の分布に基づき、TDKの分布を考慮した範囲を設定し、PS位置等の分布範囲の評価に用いることとします。
0:33:58	次に(3)PS1 の分布範囲の検討として、の 163 ページが検討 1 です。
0:34:07	図にオレンジ色で着色した箇所で検討します。
0:34:11	3 の 167 ページが、それらのまとめです。
0:34:16	今回岩盤の風化の程度については、宇和バンスタバに分けて表中に整理しております。
0:34:23	変状の有無とシームの地表付近に分布する岩盤の風化の程度には関連が認められます。
0:34:29	なお、S1 の分布する岩盤の風化の程度以外に変状の有無に関与する岩盤性状の違いは認められません。
0:34:37	PS1 の分布は地表付近の強風化部中のS11 の一部の範囲で認められた工夫部及び新鮮部中のS11 には認められません。
0:34:46	このため、PS1 の分布は上下盤が強風化部となっているSG地中に限定されます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:54	ここまでの検討を踏まえまして 3 の 168 ページが、片括弧 4PS 位置等の分布のまとめです。
0:35:00	続きまして、3 の 169 ページからが(2)変状の形成メカニズムです。
0:35:07	変状が形成された成因について、形成メカニズムと形成要因に分けて検討します。
0:35:13	これらの用語につきましては、右上の*2に記載しておりまして、変状の形成メカニズムは天井が規制された過程を観察分析データに基づき、定量的に示すものでして、緑色フローの方(1)から(3)の順に検討します。
0:35:30	変状の形成要因は、変状が形成された過程を地質観察等に基づく解釈により定性的に示すものでして、今回参考として検討しております。
0:35:41	3-150 すいません 170 ページが検討方針です。
0:35:49	変状の形成メカニズムについては地質観察等のデータから、強風化部が既存の弱面を利用して上方に変位、つまり変状の形成に関与した弱面により変位が生じ、その結果として変状が形成されたものであることを踏まえまして、
0:36:05	記載の方(1)から(3)の順に検討します。
0:36:09	形成メカニズムについては、前回の会合からデータと変更ございませんので、少し割愛させていただきまして、3-179 ページをご覧ください。
0:36:24	検討結果を踏まえまして、地表付近に分布する変状の形成メカニズムとしてはもんテクトニックな要因で形成された非構造的のものと判断されます。
0:36:35	3-1 億 80 ページからが変状の形成要因です。
0:36:41	まず、検討方針です。
0:36:44	記載の①から④の手順で検討します。
0:36:48	3-181 ページからが①文献に基づく形成要因の検討です。
0:36:56	まずこのページが飲んテクトニック断層に関する文献に基づく検討です。
0:37:01	町のPS1 棟の特徴との類似点について検討します。
0:37:05	なおも地点のPS1 棟の特徴につきましては、補足説明資料 10 市町に根拠データをコンパイルしておりますので、適宜御参照ください。
0:37:15	表を見ていただきまして、表の一番右の列に類似性を示しております。
0:37:20	地すべり堆積時のそのダンピング火山活動等は類似点が認められず、変状は少なくともこれらの形成要因によるものではないと判断されます。
0:37:30	地震動堆積物の圧密及び岩盤の風化、劣化に伴う体積変化は類似点が認められ、必ずしもすべてを説明できるものではございませんが、これらの形成要因が可能性として考えられます。
0:37:45	3-2-82 ページをご覧ください。
0:37:49	続いて、活断層に関する文献に基づく検討です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:54	現状の形成メカニズムとしてはもんテクトニックな要因で形成された非構造性のものと判断されますが、念のため、活断層の主な特徴との類似性を検討しています。
0:38:05	今日の一番右の列に示しますように類似性はどれもございません。
0:38:12	審査によると、将来活動する可能性のある断層等は後期更新世以降の活動が否定できないものであり、震源として考慮する活断層のほか、地震活動に伴って永久変位が生じる断層に加え、支持地盤まで変位及び
0:38:28	変形が及ぶ地すべり面も含まれる。
0:38:31	というこの記載を踏まえまして、可能性として考えられる形成要因について、10 ページで考察しております。3-183 ページをご覧ください。
0:38:43	現状の形成用についてここまでの文献に基づく検討から、必ずしもすべて説明できるものではございませんが、S11 の活動とは別の
0:38:53	形成要因が可能性として考えられます。
0:38:57	様々形成要因が考えられ、一つに特定することは困難ですか。
0:39:01	幾つか例として挙げていくつか例を挙げると表に示しますように、と地震動による受動へん。
0:39:09	岩盤の風化による体積膨張堆積物の圧密
0:39:13	凍結融解償を
0:39:15	熱水とかの注入です。
0:39:18	土佐 584 ページがまとめです。
0:39:23	文献に基づく形成要因の結果、検討の結果、変状の形成要因は必ずしもすべてを説明できるものではなく、様々な形成要因が考えられ、一つに特定するのは困難ですが、幾つか例を挙げるとすると地震動による自動へん。
0:39:39	岩盤の風化による体積膨張堆積物の圧密凍結開催を及び熱水等の注入が挙げられます。
0:39:47	185 ページをご覧ください。
0:39:51	次に、②、
0:39:52	風化部の厚さと岩盤上面の凹凸との関係の検討です。
0:39:57	なお本検討の位置付けですが、コメントS2-149 のうち、
0:40:03	現状の平面的分布と風化部の厚さとの関係として風化の程度に応じた膨張力分布が観察されるのか説明することとのコメントを受けまして、変状の形成要因を風化による膨張と仮定しまして、これらの関係について検討しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:22	ボーリング調査結果に基づく風化部の厚さコンターを用いて、仮に風化岩盤が膨張したと考えた場合に風化部の厚さの違いにより生じるがん板上面の凹凸が確認できるか否かについて検討します。
0:40:37	検討法面観察により、風化部について詳細に観察している範囲とその周辺を対象とします。
0:40:45	文化部サポコンターによると風化部の厚さの変化量は図のあつたりリスク1両矢印で示しております 70m離れた箇所では約 10m
0:40:55	*2 に示してます。30m離れた箇所では約 6mであり、10m辺りの風化部の厚さの変化量は比較的大きいところで 2m程度となります。
0:41:07	仮に風化に伴う鉛直方向の膨張量 10%と仮定すると、岩盤の上面で 10m当たり 20 センチ程度の緩やかな凹凸が生じることとなります。
0:41:18	この程度の凹凸は段丘面状の緩やかな 1 メーターコンターに現れるとは限らず、特に密にボーリングを実施した箇所以外ではワークできないと考えられます。
0:41:29	以上のことから、ボーリング調査からは風化部の厚さと岩盤上面の凹凸との間に有意なそう考えるとは判断できません。
0:41:37	次に面観察結果です。3 万 186 ページをご覧ください。
0:41:42	まずシームが分布する箇所の例です。
0:41:45	Ts6 法面にはS1 が分布し、変状が認められます。
0:41:50	ここでは詳細の法面調査及びボーリング調査により岩盤上面及び強風化部下限の分布が正確に把握されており、重複の里岩盤上面の凸部の形状の関係について検討しております。
0:42:05	強風化部の厚い箇所付近で岩盤上面の標高が最も高くなっており、岩盤上面に約 65cmの上に凸の形状が認められます。
0:42:16	この上に凸の形状を示す部分では強風化部の厚さと岩盤上限の標高に層厚には正の相関が認められます。
0:42:26	3-187 ページがシームが分布しない箇所の例です。
0:42:32	シームが分布しない掘削面観察結果の中で風化部下限の形状及び岩盤上面の凹凸が比較的正確にハグされている箇所として、本法面①と②を例として上げます。
0:42:47	これらの法面かさ観察結果から風化部の外が板上面の凹凸との関係について検討します。
0:42:54	法面 1②には変状は認められませんが、何面②では、スケッチの破線丸で囲んだ部分、ここで岩盤上面に最大 70cm程度の緩やかな上に凸の形状が認められます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:08	法面観察及び周囲のボーリング調査結果では、この部分の風化部の厚さは約 2 から 3m厚くなる傾向が認められることから風化部のサトウが板上面の上に凸の形状は関係がある可能性があります。
0:43:22	しかしの風化部下限の詳細なデータ及び法面丸いのさらに西側のデータがなく、
0:43:29	岩盤上面に侵食による緩やかな凹凸がもともとあったことも考えられることから、
0:43:34	風化部の外が板上面の落とさない間に有意な相関の有無が判断できません。
0:43:41	3-188 ページがまとめです。
0:43:44	ボーリング調査及び法面の観察の結果からは風化部の厚さと岩盤上面の落とすとの間に防潮明確に示唆するような有意な相関は判断できません。
0:43:55	3-189 ページからが③薄片観察による検討です。
0:44:01	こちら位置付けとしましては本検討はコメントS2-149 のうち、
0:44:06	風化に伴う膨張の証拠として、物理現象理解し納得できる写真があれば提示することとのコメントを受け、そのような薄片写真がないかを検討したものです。
0:44:17	まず検討方針です。
0:44:19	風化による岩盤の膨張直接的に資するデータのも検討します。
0:44:25	パン海食火山礫凝灰岩の新鮮部から弱風化部の薄片観察を以下の通り追加して実施します。
0:44:32	3-190 ページが薄片観察試料及び 1 です。
0:44:39	3-191 ページをご覧ください。
0:44:43	こちらが新鮮部の薄片Aの観察結果です。
0:44:47	新鮮部のガラスには気泡写真中にCVと記載した部分の伸長方向に斜交する連続性の乏しい不規則な形状で初生的な微細な割れ目へと緑の矢印で示した箇所が認められます。
0:45:03	ほう黄色の矢印で示したスメクタイトは軽石の外縁気泡の内壁及び微細な割れ目に薄く生成しており、属性作用によって生成されたものと考えられます。
0:45:16	3-192 ページが、次に弱風化部の薄片Bの観察結果です。
0:45:23	弱風化部のガラスには幅広く連続性のある割れ目が多数形成されており、内部に褐色のスメクタイトピンクの矢印で示す褐色の部分が生じており、これは風化の進行に伴って後から形成されたものと考えられます。
0:45:40	褐色のスメクタイトを伴う割れ目の幅は新鮮部に比べて拡大していることから、岩盤の膨張示唆する可能性があります、通過に伴う防潮で幅が拡大したもののかの判定は難しく、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:52	岩盤の膨張直接的に示すデータとは言えません。
0:45:56	3-193 ページをご覧ください。
0:45:59	薄片すっ薄片Bです。こちらは前回会合でもお示したものでして、風化に伴う防潮で斜長石の半焼及びその周辺の割れ目の幅が拡大したものかの判定や難しく、こちらもええと岩盤の膨張直接的に示すデータとは言えません。
0:46:17	以上を踏まえ、3-194 ページがまとめです。
0:46:22	追加で薄片観察を行ったものの、防潮直接的に示す新しいデータは確認できませんでした。
0:46:29	3-95 ページが変状の形成要因のまとめです。
0:46:34	以上の検討を踏まえ、下向きの矢印がまとめです。
0:46:39	三条は飲んテクトニックな要因で形成された非構造的のものであると判断されるものの変状の形成要因は一つには特定困難であり、さらにはその他の要因を含む複合的的要因も可能性として考えられます。
0:46:53	なお、少なくとも断層活動とは関係のない審査ガイドの地すべり面のようなものと考えられます。
0:47:00	3-196 ページからが、
0:47:02	PS1 及びPD系の分布は、分布の評価です。
0:47:07	まず評価の流れですが、片括弧 1、PS1 棟の評価上の分布範囲の設定をして、片括弧 2、S11 の地表付近に認められるPS位置等に関わる評価を行います。
0:47:21	3-197 ページが検討方針です。
0:47:25	3-198 ページがPS1 棟の評価上の分布範囲の設定の考え方です。
0:47:32	まず、ここまでの検討を踏まえまして、PS1 及びPD系の分布は記載の二つの通りです。
0:47:39	また、ちょっと変状の形成メカニズムを踏まえたPTSスイッチ及びPD系の分布について検討する考え方も記載の二つの通りです。
0:47:49	で、これらを踏まえまして、PS1 及びPD系と重要施設との位置関係を評価するため、評価上の分布範囲としてPS1 棟の評価上の分布範囲を設定します。
0:48:01	BS1 棟の評価上の分布範囲は、
0:48:04	PPAの分布がPS1 の近傍に限定されることを踏まえ、PS1 の分布に基づきPD系の分布を考慮した範囲とします。
0:48:14	図 1 の紫両矢印で示したPS1 棟の評価上の分布範囲は平面的には変状が分布し、S11 上下盤が上下盤に強風化部が確認されるPDS位置等が分布する範囲です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:28	断面的には、深部は緑矢印で示した①強風化部弱風化部に接する範囲の下端とした浅部を青矢印で示した②成層構造が発達する部分の下限が地表付近で第4系に接する部分とし、いずれも保守的に設定します。
0:48:45	ここでPS1棟の評価上の分布範囲を保守的に設定したことにより、その方はCF3断層にS11が切断される箇所より深部に設定され、S11の評価で空白範囲は生じません。
0:48:59	3-199ページが平面的に示したものです。
0:49:04	図に紫ハッチがS11の分布範囲、あと変状の有無等に基づき作成しましたPS1棟の評価上の分布範囲です。
0:49:14	なお本図のシームがアホ本図で示しているシームの赤線が重要施設付近でぎざぎざしておりますが、これは左下の点線に書いてございますが、設計上の掘削面形状で作成しているためです。
0:49:29	3-2ページをご覧ください。
0:49:34	重要施設とPS1棟の評価上の分布範囲との位置関係です。
0:49:39	重要施設の基礎地盤にはTS1棟の評価上の分布範囲はございません。
0:49:44	3-201から203ページが各断面です。
0:49:49	3の204ページがまとめです。
0:49:53	DS1及びPPAについて検討した結果をまとめると以下の通り評価されます。
0:49:59	S11の分布範囲、変状の有無等に基づき設定したPS1棟の評価上の分布範囲は重要施設の基礎地盤にはありません。
0:50:08	重要施設の基礎地盤には、一部でS11が分布するものの、PS位置等は分布しません。
0:50:14	3-207ページから今回新たに追加しております重要施設の基礎地盤S11が分布する付近の岩盤性状の検討です。
0:50:25	まず、検討の流れです。
0:50:29	(1)S11の地表付近で変状が分布するしない岩盤性状の違いを検討して、それを踏まえて(2)重要施設の基礎地盤側面に分布するS11付近の岩盤性状を検討して、(3)検討結果の評価をします。
0:50:46	3-208ページからが、
0:50:49	まず、幸一S11の地表付近で変状が分布するしない岩盤性状の違いについてです。
0:50:57	まず検討方針です。
0:51:00	重要施設の基礎地盤側面に分布するS11の一部は風化部下限に近接していることから、SGっていうのは地表付近の岩盤を分析し、岩盤性状を詳細に検討します。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:13	なおこの章で対象とする風化部下限が近接する重要施設とは、原子炉建屋、第1フィルタベント建屋、軽油タンク及び燃料補助建屋の4施設です。
0:51:25	ここまでの検討で変状が分布するしない岩盤の性状の違いは風化のオオイが認められず、風化の程度が変状の有無に関与すると考えられることから、
0:51:36	科目について物理的・化学的風化指標の観点から、岩盤性状の違いを検討します。
0:51:43	3-219 ページをご覧ください。
0:51:47	まず、地質調査と風化区分との関係です。
0:51:52	敷地の調査の流れに基づき風化区分につきましては、青色の①。
0:51:58	地質構造の調査及び緑色の丸に基礎地盤の調査、ここでは風化部、新鮮部と区分しまして、オレンジ色の③シームの活動性評価の調査では、
0:52:11	普通株をさらに詳細に強風化部、弱風化部に再区分します。
0:52:16	3-110211 ページを見開きをご覧ください。
0:52:22	こちらが、試料採取位置です。
0:52:24	誕生が分布するTs6 法面付近並びに変状が分布しないTs5 法面及びTF5aトレンチ付近からS11 の上下盤に分布する単価移植火山礫凝灰岩のコア試料を採取しました。
0:52:38	3-112 ページが検討に用いる風化指標の一覧表です。
0:52:45	岩盤上の評価に重要な客観的定量的指標として表に示す風化指標を用いて検討します。
0:52:52	その結果、3-213 ページです。
0:52:58	地質活発に基づく風化区分とか部署の風化して風化指標との関係を示します。
0:53:04	表の左の列が風化区分でして、上から強風化部、弱風化部、新鮮部。
0:53:10	それらに対応する地質観察による岩盤の性状として壊さ新定義の記載しております。
0:53:19	その右側に今回分析した風化指標について各ヒストグラムを示しております。
0:53:25	なお、これらの個別の分析結果につきましては補足説明資料12章に掲載しておりますので、適宜御参照ください。
0:53:34	結果ですが、物理的風化を示す指標としてあり貫入勾配乾燥密度間隙率。
0:53:42	及び化学的風化を示す指標として色彩値、
0:53:46	風化し、その辺りの分布は地質観察による岩盤の風化区分ごとに明瞭な差異の違いが認められます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:54	一方、表の右から2列目に示しております帯磁率、こちらは風化区分との明瞭な関係は認められません。
0:54:02	以上のことから、変状が分布する岩盤へと強風化部と変状が分布しない岩盤弱風化部、新鮮部に対応する地質観察による風化区分と各種分析による岩盤性状は整合する結果が得られました。
0:54:17	3-114 ページがまとめです。
0:54:20	次に3-215 ページからが(2)重要施設の基礎地盤側面に分布するS11 付近の岩盤性状です。
0:54:28	まず検討方針です。
0:54:31	重要施設の基礎地盤側面に分布するS11 は風化部下限が近接しているため基礎地盤が変状の生じる箇所の岩盤性状に該当しないことを以下の通り検討します。
0:54:43	まず重要施設の基礎地盤のS11 及びその付近の岩盤性状を確認するに当たり、
0:54:50	現状は確認されたトレンチから製法の重要施設にかけての地質断面、こちらを検討します。
0:54:57	次に用施設の基礎地盤のS11 及びその付近の岩盤の分布について確認するため、側壁地質図、
0:55:04	を検討します。
0:55:06	最後に重要施設の基礎地盤のS11 付近の岩盤性状について、先ほど(1)で検討した変状が分布するしない岩盤性状との比較により検討します。
0:55:19	3-116 ページをご覧ください。
0:55:22	重要施設の基礎地盤のS11 及びその付近の岩盤性状を確認するに当たり、平面図で見ると、S11 の分布が限定的にあり、重要施設付近には水色ハッチで示すS11 がcf3 断層に切断され、後期更新世以降の活動のない範囲が分布し、
0:55:39	紫のハッチで示すPS1 棟の評価上の分布範囲はありません。
0:55:44	続いて、多面的な検討として変状が確認されたトレンチからその辺を、その製法の重要施設にかけてちょっと図中に示すA' 断面で検討します。
0:55:55	なお、本図のシームの赤線が重要施設付近を横切るように分布していますが、こちらに関しましては左下の点線で書いてございますが、現地形で作成しているためということです。
0:56:08	3 の 217 ページがえ等の断面をご覧ください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:16	北東側へと断面図の右側のTs8トレンチ付近ではいけばつきの点線で示す風化部が約5m以上と厚く変状が認められますが、南西側、断面図の左側の重要施設付近では風化部が約1mと薄く変状は認められません。
0:56:32	また、図面上、図面の右側に紫矢印で示すPSA等の評価上の分布範囲は、
0:56:40	東側からSGと風化部下限との交差1までと考えられます。
0:56:45	DS発トレンチ付近でのSGと風化部下限との関係が3-218ページです。
0:56:51	S11の上下盤ともに強風化部として、地表付近で変状が認められます。
0:56:56	3の219ページが重要施設付近でのS11と風化部下限との関係です。
0:57:03	SGTは風化部下限の下位に位置し、直接接していません。
0:57:08	サンノミヤ120223ページをご覧ください。
0:57:14	重要施設付近での平面図として、3-222ページが、
0:57:19	基礎掘削前の地質平面として、何か委嘱火山礫凝灰岩の一部に風化部が確認されます。火線詰めしたS11は、短海食火山礫凝灰岩の新鮮部及び風化部に分布します。
0:57:32	3-2、123ページが基礎掘削後の設計を反映したものでして、重要施設東側でS11は短海食火山礫凝灰岩の新鮮部に分布することが確認されます。
0:57:43	平面図中に青線で示した重要施設付近の側壁地質図、こちらが3-224、225ページに示しております。
0:57:53	重要施設付近の基礎地盤の側壁地質図では、S11は、短会則火山礫凝灰岩の風化部に接することはなく、新鮮部に分布することが確認されます。
0:58:04	また風化部下限については断面上のボーリングを基本とし、掘削面地質観察結果及び付近のボーリングを参照し三次元的に検討しております。
0:58:14	各地質柱状図コア写真及び掘削面地質観察結果につきましては、補足説明資料の14章。
0:58:22	及び机上配付資料を御参照ください。
0:58:25	次に3-226ページからが、重要施設付近での岩盤性状の分析についてです。
0:58:32	まず分析試料採取位置です。
0:58:35	SG1は重要施設付近の単価移植火山礫凝灰岩の新鮮部中に分布することから、この付近で削孔時期が新しく比較的保存状態が良好なボーリング孔から試料を採取し、昔は分析を行いました。
0:58:49	その結果が3-227ページです。
0:58:54	表の一番下の行に示す重要施設付近の新鮮部の風化指標の値とその上の表に示します天井の詳細調査地点周辺の新鮮部の風化指標の値を比較します。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:07	両者の風化指標の辺りの分布はよい一致を示し、両者の岩盤の風化性状が客観的、定量的風化指標に基づいて同じであると判断されます。
0:59:17	念のために実施した重要施設付近の弱風化部の風化指標の値は、
0:59:23	炎上の葬祭調査地点周辺の新鮮部から弱風化部のあたりであることが確認されました。
0:59:29	以上のことから、重要施設のS11 付近の岩盤の性状は少なくとも強風化部とは異なり、
0:59:35	変状が分布する岩盤の性状に該当しないことが確認されました。
0:59:40	パンの 228 ページがまとめです。
0:59:43	3-29 ページからが(3)検討結果の評価です。
0:59:50	重要施設の基礎地盤側面に分布するS11 は風化部下限に近接しているため基礎地盤のS11 が露頭する部分の岩盤性状について検討した結果は以下の通り評価されます。
1:00:02	地質観察によると重要施設の基礎地盤側面にS11 が露頭する付近の岩盤は新鮮部であり、少なくともS11 に強風化部が接することはありません。
1:00:13	風化の程度に関わる岩盤性状の分析によると、
1:00:16	重要施設の基礎地盤にS11 が露頭する付近の岩盤は新鮮部の性状示し少なくとも強風化部の性状を示すものではありません。
1:00:26	以上より重要施設の基礎地盤側面にはTS1 は分布せず炎上も分布しないと判断されます。
1:00:34	3-2 区画 31 ページがS11 の基準適合性の評価です。
1:00:40	S11 はcf3 断層との切断関係から後期更新世以降の活動はないと判断されることから、重要施設を将来活動する可能性のある断層等が露頭しない地盤に設置します。
1:00:53	S11 の地表付近の一部に認められる後期更新世に生じた変状はS11 の活動とは別の地表付近の一部の範囲に限定される現象であると判断され、分担範囲の検討及び岩盤性状の分析から、これらは重要施設の基礎地盤に分布しないことが確認されました。
1:01:12	以上より、S11 は基準に照らして重要施設の安全上問題となりません。
1:01:17	なお、状の形成要因について、必ずしもすべてを説明できるものではありませんが、断層活動とは別の岩盤の風化に伴う防潮地震動による自動的な作用等の複数の要因が可能性として考えられます。
1:01:32	3-233 ページが 3 ポツ 4 シームの評価です。
1:01:38	評価の結果、シームは基準に照らして重要施設の安全上問題となりません。
1:01:44	本日の説明内容を踏まえまして、4-2 ページが、総合評価です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:51	敷地の断層等について、重要施設との位置関係から、分布するものがcf断層系とS11、
1:01:58	分布しないものが、dF断層系S1 から 15mに整理されます。
1:02:03	それぞれについて、薄緑色の部分で断層等の評価を行います。
1:02:08	それらを踏まえ、一番下の黄色の箱書きこちらが総合評価です。
1:02:13	cf断層系及びS11 は将来活動する可能性のある断層等に該当しません。
1:02:19	DFだ受けS1 から 100mは震源として考慮する活断層に該当しません。
1:02:25	これは重要施設の安全上問題となりません。
1:02:30	ちょっと4-3 から4-6 ページは参考としまして、コメントS2-145 規則の解釈別記1に照らしたS11 の評価について、本当の本編に掲載しておりますポイントとなる部分をダイジェスト的に整理したものとなっております。
1:02:46	本編資料の説明は以上です。
1:02:49	続いて、ちょっと補足説明資料のコメント回答の部分を抜粋して御説明させていただきます。
1:02:56	補足説明資料のローマ数字2 ページ、目次をご覧ください。
1:03:02	本回答となっているのは、10 章以降となりますのでぶらり文章は本編資料で説明したものと同一文献に基づく検討の一覧表であったりその根拠データでして、12 章 14 章はそれぞれの分析結果、
1:03:18	あと地質観察結果といった基礎データ集となっております。ですので今回 13 章を御説明させていただきます。重要施設設置位置での弱風化部中のS11 についてということで、13-1 ページをご覧ください。
1:03:38	重要施設設置位置にある記載の5 項でのSG地付近の岩盤性状と変状が認められる箇所でのTFす 8 トレンチ付近のS11 付近の岩盤性状退避し、
1:03:50	重要施設側面をs11 がPS1 に該当するものでなく、問題となるものではないということを示します。
1:03:57	13-2 ページが検討方針です。
1:04:01	①ボーリング調査により敷地内のs11 の分布とS11 付近の岩盤性状を以下の三つのポツに記載の通り確認します。
1:04:10	②ボーリングのうち重要施設付近で実施した記載の5 項につきましては、S11 が弱風化部中に分布し、F10 項では強風化部がS11 の上位に分布します。
1:04:25	そこでということで③、
1:04:27	上記②-5 孔付近でのPS1 の分布の有無について、
1:04:32	以下の手順で整理します。
1:04:34	一つ目が変状が認められる箇所での特徴を検討項目として整理し、同様な特徴があるか比較します。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:42	比較対象は変状が認められ、重要施設付近と同一断面上で対比できるTs8トレンチとします。
1:04:49	比較の結果、Ts8トレンチ付近での特徴と異なる場合には、同様な特徴のあるオカの箇所とそこでのPS1の分布の有無、こちらを整理します。
1:04:59	検討の結果の結果の概要としまして、まず13-3ページをご覧ください。
1:05:07	変状が認められる箇所での特徴を重要施設付近の五行とあとTs8トレンチ付近とで退避した結果をまとめたものです。
1:05:16	100分示します通り重要施設付近で実施したへの御9参考付近の特徴と9参考等ですね、の等の付近の特徴はGS8トレンチとは異なり、PS1が分布しない箇所と同様です。
1:05:31	従って、これら5項には、PSいっちゃ分布しないと考えられます。
1:05:36	13-4ページ以降でコア写真、柱状図トレンチ等のスケッチを整理してコンパイルしております。
1:05:44	13-24ページをご覧ください。
1:05:53	ちょっとさっきのこちらが一番等ポイントとなる場所として重要施設付近のS11の平面分布です。
1:06:00	赤線がシームS11でそのうち側の青線がシームS11層準が重要施設、施設の基礎地盤側面に分布する位置、すなわち、先ほど本編資料で側壁地質図でシームが出てくる1、これを示しています。
1:06:18	図中の紫色で示すボーリングがこの13章で検討対象としている重要施設付近です11はバンが今日風化部に接する項です。
1:06:29	これら紫の5項は、平面図で見ますと、水色ハッチで示します。
1:06:36	S11月F3断層に切断され後期更新世以降の活動のない範囲の範囲内、もしくは青線で示していますS11の基礎地盤側面に分布するHの範囲外にこれら分布してます。
1:06:50	したがって、重要施設の基礎地盤の側面に露頭するS11は少なくとも強風化部中に分布するものではないため、重要施設押せ設置上の問題になるものではございません。
1:07:04	ちょっと長くなってしまいますが本日の説明は以上です。
1:07:13	はい説明ありがとうございました。審査側から何かあれば、確認事項等をお願いします。
1:07:24	規制庁の中村ですけども、
1:07:28	まず初めにですね、前回等、
1:07:35	何が大きく変わったのかっていうところが少し
1:07:39	わかりにくいんですけど、ちょっと資料細かくそれぞれ見ていく前に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:45	結局、一番初めに、
1:07:54	どこだったかな。すいません。
1:08:00	例えば本編資料の
1:08:04	ローマ数字の 3 ページですかね。
1:08:08	で、
1:08:09	前回から、
1:08:12	ローマ数字の 3 ページの下のほうに表があって、前回と今回の御説明ということで書かれてSCMS11 っていうのを以前は深部のシームとかって地表付近のシームとかっていう
1:08:31	言葉で使って説明してましたけど、今回はその言葉自体は今説明したところについては、言葉はなかったかもしれないんですけど、結局PS1 とか、
1:08:45	Pdとかでしたかね、そういう言葉が出てくるっていうことは考え方としてはそこは変わってないっていう認識でいいんですか。
1:09:05	電源開発タカオカでございます。PSAPKっていう言葉は出てくるので。その部分は変わってございません。ただし、今回何が変わったかというところは決算の 119 ページご覧いただきたいと思うんですけども。
1:09:24	この
1:09:25	右側に拡大図がございますけれどもCMS11、それをブルーでって。
1:09:33	その中の後期更新世に動いたと思われる最新面、PS1 という形で示しております。これは解釈別記 1 に照らしてCMS11 を評価対象としてというそういう
1:09:48	コメントをいただいて活動時期が違うことをお示した形でございますので、この解釈別記 1 照らしての評価対象は何かというところで、この辺りの考え方。
1:10:04	それから
1:10:05	図面上での表記の仕方、そこが変わったところでございます。全廃
1:10:12	と比べて、前回はこのPS1 の部分をすべて赤色で着色してそれを地表付近でcfさんに切断された指針をすべてブルー1 食でS11 と示してありましてそこは今中村審査官。
1:10:30	言われた通りでございます。評価対象明確にしたということで、
1:10:35	前はわかりやすさを優先したんですけども、今回のほうが地質現象をきちんと表現しているという形で
1:10:47	とらえてございます。
1:10:51	基本的に、
1:10:54	えっとよろしいですか。
1:10:57	ナカムラですけど、一つとしては、言葉で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:04	書かれてどう変わったっていうのはあるんですけど、例えば3の119とかっていうの今の説明を受けても、何がどう変わったっていうところが少しやっぱイメージがわかりづらいんで、何かその辺はちょっと工夫してもらったほうが、
1:11:20	いいのかなというところと、
1:11:23	一番今回のところで、大きな話だと思うんですけども、
1:11:31	新たに
1:11:32	物理的に
1:11:36	とか、科学的っていう風化の指標をし、
1:11:40	調査したっていうとこなんですけども。
1:11:43	最後の最後で、
1:11:46	ちょっと出てきたのは出てきたんですけど。
1:11:48	実際何を
1:11:51	どれだけですね前回の審査から調査をしてっていうのが何かこう見えてこない というか、非全体的に非常にわかりにくかったんですね。
1:12:02	だからちょっとそこは何かまとめ頭のほうにあったのかもしれないんですけども、
1:12:09	前回からの
1:12:12	何を変えたっていうのがほとんど見えにくいかなという全般的な感想ですね、 細かいところのコメントについては後程言いますけど、まずざっくりした全体の ところで、
1:12:27	ちょっとほかの方も御意見があったらですね、お願いしたいんですけど。
1:12:36	サトウですけども。
1:12:38	ちょっと今日細かい議論は多分できないかなと思ってるんだけど。
1:12:43	我々の前回6月の審査会合で指摘したことに対して、じす可能なのか。
1:12:50	或いはその説明してくれといったところは説明に答えているのか。
1:12:55	私にはそこが全く見えませんでしたね、今日の説明は、
1:12:59	前回の指摘はかなり訴求ポイントを我々ついたところだと思っているんだけど も、今日の御社のその説明等構成資料構成を見るとね。
1:13:11	どうも付録的に何ていうかな、一番最後にちょっとつけてお茶を濁した程度の話にしか私には全然聞こえないんだよね。
1:13:24	基本は皆さん方のストーリーはそれはそれでちゃんと生かしてというところが 本流であって我々の指摘はあくまでそのまあ、まあどうでも言っちゃうとどうでも いいような扱いにしか扱ってないっていう私にはそんなイメージにしか聞こえ なかったんだけど。
1:13:40	はっきり言いますけど皆さんのストーリーはどうでもよくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:43	ちょっと訴求ポイント我々着いたはずなんでそこをちゃんと答えてもらわないと、基準適合性の判断ちゃってないと思うんですよね。
1:13:53	ちゃんと我々の指摘、
1:13:55	大きい並べたんですか。皆さん。
1:14:02	大きな話としてはちょっとその、まず1点ね。
1:14:06	それから、変状の要因をね、3講師として位置付けますっていうのはねそんなもしに話し合っ、もうない選択として、
1:14:17	あり得ない。
1:14:19	それでごまかすって思ったって駄目ですよ。
1:14:23	その通用しない。
1:14:28	メーカーの説明をしてください。
1:14:30	何も変わってない前回と
1:14:33	それから3の213ってちょっと個別の種とこ行きますけど。
1:14:41	212、213から3の21023この見開きでね。
1:14:46	前回エチレンブルーとかさccとかってことは大事ですよって言うてるはずなんだけど。
1:14:53	測定して検討したけど風化との因果関係が明瞭ではないのでは採用しませんって言うてるだけど。
1:15:00	ちょっと明瞭であるかないのかってデータ出してんだったらちゃんと出してくださいよ。
1:15:05	もう少し言うと帯磁率をはかって何の意味があるんですかこれ。
1:15:09	風化とどういう関係が性があって帯磁率測ってるんですか。
1:15:14	全く理屈がわからない。
1:15:19	極めて不真面目だね。
1:15:22	あと、この3の213年、これどっからどこまでのデータをこれヒストグラムに書いてあるんですか。
1:15:29	どこのデータなんですか全くわからない。
1:15:35	もうちょっとね感想的なコメントになりますけどねちょっと全体的な印象としては今日のCoそんなふう聞こえますよ。
1:15:43	とてもじゃないけどこれを何かその次の審査会合で上げててもまたおんなじような議論にしかならないんじゃないかなあ。
1:15:51	ちょっと全体的なコメントしました。以上です。
1:15:55	またボランティアさん同じようなそのまま私ども話をナガイですけども、正直、今日の説明は臨時会させよう気持ちは全く感じられない。
1:16:04	ただ読み上げてるだけで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:06	今佐藤が言った 212 年に 113。
1:16:09	これをどういう考えでどういうふうに思えばいいのか全くわからないそう設定全くなかった。
1:16:15	ただ文章読んでるだけ。
1:16:18	どこがポイントかもわかんない説明されてる方がちゃんと理解しているのかわからない。
1:16:23	よくようもないし、ずっと同じ棟に流して欲しい。何を我々にかえさせていたきたいとか全然伝わってこない。
1:16:30	この審査会合をやっても何もやらないですよって言えないですよ。わからない。もう一つ考えが
1:16:38	それが今日説明聞いてる半袖説明聞か時間もなかったっていう正直思ってます。
1:16:44	私から以上です。
1:16:51	電源開発のタカオカでございます。ちょっと、極めて不真面目とかは全然理解させる気がないっていうのはちょっと厳しい。
1:17:01	コメントをいただいてしまいましたけれども、我々といたしましては、サトウさんからいただいた看板成長そちらの
1:17:13	重要構造物側面の
1:17:17	データ分析、それをメッセージっていうことをいただいておりますので、ただ単に後ろに、
1:17:25	取ってつけたような位置付けて考えていることではございません。
1:17:32	我々が前回まで御説明していた紫色のハッチの評価範囲、そちらは分布する範囲がどこまでかということで、必要条件的なものであって、その範囲が重要施設の側面に出てないことをきちんと示すべしという。
1:17:51	そういう非常に重要な視点でのコメントと受けとめておりまして、
1:17:57	それで、必要十分をきちんと示すべしというコメントと受けとめて、
1:18:04	追加データも補強して検討したところでございます。
1:18:09	それでこれまで御説明したPS1Pd系、そういったものについても従来、
1:18:18	当 2010 年の
1:18:22	11 月号でした。その頃からこうコメントされていることでもありまして、
1:18:29	そのあたりをすべて高から今日全部リセットして、
1:18:33	御説明とか評価するっていうこともなかなかしがないっていうふう考えたことで、その両方があって初めて成り立つかなあという。そういう考えでございますので、ちょっとその点について

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:48	きちんと伝わらなかったところは申し訳なかったと思いますが、きちんと誠心誠意対応した。
1:18:55	つもりではございます。
1:18:58	それで、
1:19:00	今回のロジックでわかりやすく示そうといたしまして、かなり細かいところにも手を入れてこう示したつもりではあるんですけども。
1:19:11	ちょっとわかりいただけなかった。
1:19:14	ところはちょっと申し訳なかったかなと思います。
1:19:18	それから、一つ一つの各論はちょっと置いておきまして、形成要因のお話もサトウさんからございましたので、
1:19:27	従来これまでの審査会合ヒアリングで確認させていただいたところではですね。
1:19:36	成因というコメントでいただいているんですけども、地質的な成因というのは、10日採算があれば10人違うことを言うて定性的なものになってしまうので、
1:19:48	審議対象かどうかというところっていうと、なかなかそういうふうにならないっていうのは、お話も伺ってたと記憶してましたので、
1:19:57	ただ、大事な話地方付近の一部があるのはなぜという、それには答えなきゃいけないということで、
1:20:05	今回薄片のデータも追加してお出したところですので、想定についてもコメントを受けて、
1:20:13	前回のコメントを受けて対応した形ではございます。
1:20:19	それで本日サトウさん、佐藤審査官の方からこの船員要員についても避けては通れないっていうお話を伺いましたので、
1:20:32	ただこれ以上データ追加もなかなかできないんでサトウしたものかなと正直思ってるそこではございますか。
1:20:40	本体資料には入れてございますので、その点については、
1:20:46	次回コメント回答として御審議いただく形で用意させていただいたものではございます。
1:20:52	それからナカムラさんからWEB
1:20:55	今回の話の冒頭にございました。
1:20:59	前回と何が変わったかというところでそれから追加で何を
1:21:05	追加でこう補強したのかがわかりにくいところについては比較表なりこう示し方資料でお示し方は工夫したいと考えてございます。
1:21:17	あとそのほか、佐藤審査官から言われた道連ブルーccとか地質的な部分については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:25	一つ、地質担当の方からご説明いたします。
1:21:34	いや、ごめんなさい、途中で
1:21:36	すみません。
1:21:38	来個別のちょっと話はちょっと置いといても前本先ほどちょっとすみません私申し上げた点に関してはどうお考えですかとかさ。
1:21:57	そ 9.1 ポイントというところかと思うんですけどもその点に関しましては岩盤性状をきちんと示すべしというメッセージっていうふうに言われてコメントされたところかなあとしますので、
1:22:10	科学的分析部それでけ分析、その内容についていかなものかというコメントをいただきましたが、強風化弱風化、新鮮置こう識別できるものとして、
1:22:23	お示したさらに
1:22:27	複数断面というところもございましたのでその点についても、断面を前回までは 1 枚お示したものを今後複数、2 枚 3 枚とふやしただけでは回答したことにはならないなということで、ボーリングですとか、
1:22:44	SOP液面の掘削断面のデータはなどから見解というようなものでお示した訴求ポイントというのはそのような
1:22:56	ところ、
1:22:58	そのような形として、今回回答していただいた。
1:23:02	そのように考えてございます。
1:23:13	%サトウですけども、ちょっと今日のストーリーねえ。ちょっとやっぱ全然わからないんで、後半。
1:23:20	後半特に
1:23:22	全然わからなくなってきた。
1:23:24	何をおっしゃりたいんですか。皆様、
1:23:29	皆さん方も前はちょっとね全くわからない前半部はいいですよ。前回と同じ内容
1:23:37	言葉の定義とかねなんか
1:23:41	書いてるところは余資にして、
1:23:43	ちょっと置いといて、
1:23:46	今日の説明で何を言いたかったんですかね。
1:23:50	私にはそれが全く見えない。
1:23:54	定価シタカオカです。前回までの前半の部分は解釈別記に照らしてこう示し方を変えたと装填までは前回の審査会合前までに

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:08	良い悪いは別として考えストーリーは理解していただいたってようなことは言われたので、今回のところかと思えますそれで私そこサトウ審査官による訴求ポイントを私が申したところは必要十分 2 億円の
1:24:25	十分条件ということで、何が言いたかったかというところは、今回の科学的分析、それから物理的分析データ提示な提示した。
1:24:38	これか。
1:24:39	3-227 ページですね。
1:24:44	こういった形で強風化弱風化、新鮮、それが変状があるとこないとこそれが
1:24:53	上段の 3 段にございまして、これが基本となる掘り所となるスタンダードの θ でこれに照らして重要施設の側面がどうなるかっていうのが 4 段目の一番下ですね、重要施設、
1:25:08	側面については、芯線がやっぱ等、一部弱風化部も入れてございましてけれども、
1:25:18	上のほうの 2 番目三番目の弱風化、新鮮部のヒストグラムありますけれども、これと同じような性状を示しているということで、マスクタンク少なくとも
1:25:29	変状は確認される。今日風化岩盤の成長は示さないと、ここが訴求ポイントの一つというふうに考えてございます。
1:25:38	それからもう 1 点は
1:25:42	側面の地質展開図となりますけれども、
1:25:47	まず、
1:25:50	位置図として 3 の 221 ページですが、
1:25:54	これが、
1:25:57	前回審査会合で中村審査官とやりとりをして、シーム S11 活動性がない範囲がどのように分布しているかとそれからの連続性でお示したのなんですけども。
1:26:10	重要施設の側面付近に出てくるのがこのブローハッチのでありましてこれが cf 3 に切られた部分より深いところ、つまり新鮮岩盤に接する部分、
1:26:23	それから、シーム S11 層準等前回御示ししていたんだけど、すみませんちよつと今、74 ページをご説明されてるかも 1 回お願いできますか。瀬下さんの 221 ページです。
1:26:38	今画面に出ているのかなと思うんですか、すみません途中で申し訳ないですけども、はい。
1:26:44	この 3-221 ページのね、そもそもこの
1:26:48	薄いブルーでこうハッチングしたところ、今回これを新たにマッピングしましたという説明なんだけど、これと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:58	これはどっから出てきたのかっていうところもわからないし、
1:27:03	うん。うん。
1:27:05	これいきなり出てきてもわからないままに説明あったかもしれないんだけど、ちょっとねこれ唐突感があるんですよ。
1:27:12	これをどうやって、
1:27:15	このブルーの塗色してるハッチングしたところ、
1:27:20	こういうふうと考えられたんですかcfさんに
1:27:23	既切断された後期更新世以降の活動のない範囲っていうのはどっから持ってきてるんですけど、どっから引っ張ってきてるんですか。
1:27:30	ちょっとそれこそ冷夏シタカオカです。ちょっと今、実際の説明実績担当が説明するんで、ちょっとその訴求ポイントの二つ目だけちょっと。
1:27:40	お話をさせていただきますとの判決に終わらせますと、要はこの 221 ページにあるこのブルーハッチがCCF3に切られた 1 審で申請岩盤に接する部分が重要構造物の側面に当らわれるかを示す。
1:27:55	これ非常に重要な絵だと位置付けております。
1:27:59	それ重要構造物の側面っていうのはどこかというのがわかりづらいんで、このブルーのラインが
1:28:08	ページ色の構造物の左側にあると思うんですけど、そこそ側面にシーム S11 が表れるで示す位置についても前回、
1:28:20	S11 層準と申していて、中村審査官とのやりとりでSGが分布する部分と、
1:28:29	分布しない部分も全部一緒くたの線で示していたので今回はそれをきちんと
1:28:34	明示した形です。そ 121 ページだけだと平面図で根拠はわからないので、
1:28:44	220
1:28:46	2 ページに 123 ページ、これが 12 年版の平面図で一番
1:28:52	そこがポイントの肝になるのが次の 3 の 224 ページと 225 ページでございますて、
1:28:59	この 224 ページの
1:29:04	ちょうど真ん中に移っている絵が交流シーム S11 が側面に出てくる 1 ですけども、その風化部がどのように分布するかについては斜線の部分で、
1:29:18	アプライしないとなかなかわかりにくいところを上に三つ拡大して、大体 20cm ぐらい。
1:29:24	離れているなんていうことをお示して、S11 は風化部には接してない。そういったデータが得られました。
1:29:34	というところですね、この辺りが、前回審査会合で、佐藤審査官からきちんと示すべしと言われた訴求ポイントの 2 件目。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:43	と考えてございます。
1:29:46	ちょっと成因根拠を除いて、今回返上。
1:29:51	PS1 の分布絡みでは、ポイントは公開肝となるのはこの
1:29:56	2 点というふうにとらえてございます。
1:29:59	すみません、ナガイですけど、どのように出てきたかについては、ちょっと
1:30:05	この後お話ししますか。すみません想定の説明も含めてですけどね、今の御社のスタンスが綺麗に見えたんだけど、簡潔に説明するとかね、今前置きの時間作るため多分説明したんだと思うんだけども、そういうことをして時間誠意が感じられない。
1:30:22	大事なところ何とかしっかりポイントを進めているということと何が大事なのかしっかり先ほど説明説明してくださいよとわざわざ聞かれてから説明するっていう活動はないじゃないですか。
1:30:34	そのうち見過ごしていったこととございます。すみません、簡潔にっていうのは略して説明じゃないんで、わかりやすくポイントを突いて説明の意味で申しあげました。いや普通そういうふうに関係は言わないですか、使えるようにします。
1:30:50	テープ時間稼ぎで御説明したわけじゃなくて、佐藤審査官から訴求ポイント説明せよと言われたことなので、この 2 点ほどあるんでお話ししたさせていただいたところです。すみません。
1:31:05	すみませんちょっと待っていただいてもいいですか。
1:34:19	すみません。規制庁の中村ですけども、やっぱりまずですね一番大事なところで言うと、今回今の資料でいうと、私も全部説明今の説明で理解できてないところあるかもしれないですけど。
1:34:34	要するに安全性重要な安全機能を有する施設の横に
1:34:40	S11 っていうのが断続的とは言いながらも出てきているというような説明になってるわけですね。だから、そういうところがやっぱり説明としてその三条というしたじゃ基礎だけじゃなしに側壁に出てきても駄目なんで。
1:35:00	やっぱりそういうところがちゃんとせんでいいのかっていうのがやっぱり一番説明できてないところがあるので、本質的なところ言いますけども、
1:35:14	前回の会合のときに指摘を受けたから、そこを充実させたという感じは見れるんですけども、例えば趣旨のところね、理解してないんじゃないかなというのを例えば今さっき言った風化のところの
1:35:29	化学的風化とか物理的風化っていうのを調べてくださいって言ったのはただ単にそれぞれでやってくださいって言うてるんじゃないに

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:39	安西機能の有する施設のその側壁のところにそれがどういうふうに数値的に評価表現できるのかとかそういうところ、ただ単に側壁の絵だけじゃなしにそういうのを組み合わせて、事業者として説明して欲しいというところで、
1:35:56	前回の会合で指摘したと思うんで、まずそういうところが理解できてないんじゃないかなという今回の資料とか見てるとですね。思うわけですね。
1:36:08	で、やっぱり一番わからないのがサトウからも何回かありましたけども、事業者として、今Sのさ、11っていうのがどういうことを説明したら、事業者としてはこれは、
1:36:24	動かないって言うてるわけですから、どういったら動かないかっていう、全体的なストーリーっていうか、そこがコメント回答をしてしまったっていうだけに、全体的な資料構成がなって、
1:36:40	そういうところができてないからこちらも見ても、何が言いたいかわからないというところで、各それぞれの指摘事項がこう繋がって見えないっていうところじゃないかなと思うんですけど、まずその点どうですか。
1:36:56	電源開発タカオカでございますといろいろとわかり伝わらなくて申し訳ございません。
1:37:02	まず一つポイントが伝わらないにつきましては、担当者も、
1:37:07	限られた時間でいかに説明するか非常に頭を悩ましてあまり絞り過ぎてもいいということで、ちょっと内容が結構盛りだくさんだったので、真面目に説明しようとしたがゆえに、
1:37:22	広い範囲を説明して、それでちょっとポイントは、ちょっと伝わらなかったなというところは反省点でございます。ちょっと、まず、そのように受け取られたところの反省点はそういうところですので、少し本当にポイントが足りなかったなと。
1:37:38	いう所申し訳ございませんでした伝わらなかったなというところも共通ポイントが伝わらなかった点が、申し訳ございませんでした。
1:37:46	それから今中村審査官言われた、今回何を示すかについてもですね、佐藤審査官からコメントをいただいた訴求ポイントという岩盤性状、それから側面の食って地質、その意味合いも
1:38:03	我々としては理解はしたつもりではあるんですけど、何ですか、ちょっとデータが少し足りないという分析のデータがないとかそういうふうなことを
1:38:18	展開図に照らしたところでデータが足りないということを言われてるようにも受け取れるので、もう少しそこは趣旨を踏まえて、きちんとどういった考えで、
1:38:30	お示ししたかを整理する必要があるかなというふうに受けておりました。
1:38:36	全体ストーリーにつきましても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:39	サトウ州のバン環境をしっかりと受けて、必要条文で訴求ポイントを示したつもりではあるんですけども。
1:38:48	重要施設の脇のS11 が動かないということもきちんと説明できるますデータで、
1:38:57	データを示すべしということだと思いますので、ちょっとその辺りは、
1:39:04	少し考えてみたいと思います。取り急ぎ以上です。
1:39:08	すみません、規制庁のイワタですけれども、ちょっとこちらからも少し厳しいコメントいたしましたけれども、その部分についてはですね若干私のほうからはお詫びを申し上げますが、まずローマ数字の 4 ページを見ていただくとですね。
1:39:24	やはりその今回の説明骨子で何を説明したいかというのはですね、十分に見てとれないというところがまずは問題なんじゃないかと思うんですよね。具体的に言うと下から 123 四つ目ぐらいかなんですが、シームのS11 に着目しているというのは多分これも共通理解だと思いますけれども、
1:39:42	施設の直下ではないんですけども施設の側面にですね、将来活動する可能性のある断層等が来るのはやっぱりまずいんじゃないかと、それは基準適合上ですね、しっかり考えで判断しなきゃいけないんじゃないかということで、このS11 については詳細に説明を求めているということなんですよね。
1:39:58	そのときに、実はS11 というのは、将来活動する可能性のある断層等に区分される部分もあるかもしれない日でそれはそうじゃない部分もありますよと、そこを分割してですねきちんと側面に出てきているものというのはどっちなんだということを説明して欲しい。
1:40:13	と思うんですよ。
1:40:15	そこ、それに対してその個々の根拠をつけていただかないといけないということ。
1:40:20	あとやはり先ほど佐藤から申しましたけれども、なぜか原因はわからんということだけでですねは進まないんだと思うんですよ。
1:40:28	進まないんだ積まないというのは、そうするとやっぱりこれはえとべきにも書いてある通りですね、これは能動的に動くものだけではなくて自動的に後期更新世動いたものについてもですよ。将来活動する可能性のある断層等に区分されちゃうわけなので、そこは脳性も含めてしっかり説明してもらわないと。
1:40:45	その判断ができないということなんです。従ってまずはですよ。何をどう説明したいのかという故障ですねしっかり書いていただいた上で、前回の説明からデータをこのように追加いたしましたとかですね、そういうまずは全体像がわかるものをですね、お示しいただいた上で、
1:41:03	個別の御説明っていうのをされたらどうでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:06	以上です。
1:41:12	電源開発のタカオカでございます。
1:41:16	伊ワタ調査官の言われた趣旨は理解はしました。ただちょっとその表し方が非常に悩ましいところがありまして、これ紆余曲折あって、あまりこう、
1:41:31	ポイントだけ絞ってしまうと全体がわからないで全体をこうわかるように今回示すんでお示しすると、ちょっとポイントは変わらないと、ちょっとどのぐらいのころは以下っていうのは非常に悩ましいところですが、皆さん言われる。
1:41:46	ご趣旨は同じことを言われているので、
1:41:50	特にS11が重要だということのでっ今回べき。
1:41:56	解釈別記1に照らして、
1:41:58	その流域っていうかシーム全体として評価っていうことをですね、どこがオオイてるかっていう部分でそこは重要施設の側面で全然問題ないということをきちんと説明しようということと言われてると思いますので、
1:42:14	争点を発注改善工夫したいと思いましたがすけれども細かくつくらなきゃいけないと細かくつくらなきゃいけないんだと思うんですよ。ただ、まずは、前回の会合ではないと私言いませんでしたけど、強風化部にaの話は多分、我々も合意してるわけですよ。
1:42:31	それ以外の部分についてどのように考えて、それはどういう根拠に基づくものなんですよというのは当然これは補強してもらわなければいけないんですけども、やはりこれ何回も何回もずっとやっていけば分厚い資料作っていただいてですね皆さんご苦労されてると思うものの
1:42:46	焦点となる部分っていうのは、多分今S11に絞られてるんじゃないかと思うんですよね。そのあたりをまずは全体像を示した上で細かな資料説明されたらどうですかということをお申し上げたつもりなんですけれども、なので全くの厚い資料がいらないう言っているわけでもないし、
1:43:02	今回説明いただいたようなところですね、追加した部分についての説明でもいるんだと思うんですけれども、ただ、まずは全体像がわかる形で御説明いただかないと何を説明して、
1:43:14	いるのか、またビジョンをどんどんどんどん持っていただけですね、我々もそのあれなんか急に出てきたけどこれって根拠はどこにあるんだろう。それはいやこっちを見てくださいになっちゃうのかもしれないけれども、ただ、今繰り返しになりますけれども、そこがですね、まずはちゃんとわかるようにしてもらわないと。
1:43:31	なかなかこの議論が進んでいかないし、我々もその資料をかけるだけになってしまって、議論が進まないんじゃないかと思うんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:38	そこを工夫していただきたいと申し上げているつもりなんですけれども、
1:43:42	いかがですか。
1:43:45	はい。
1:43:46	電解槽タカオカでございます。イワタ。
1:43:50	調査会触れた御趣旨はよくわかりました。
1:43:55	ちょっと資料変わってますね、
1:43:59	大きな効果としてポイントをこう示してそのそこに困惑ついてくるエビデンスを各論で示されるとかですね、ちょっとその辺り、
1:44:09	下期示し方、御説明の仕方、ロジックなど主要構成などを考えたいと思います。
1:44:16	ぜひよろしく願いいたしますの資料の中にも幾つかフローが出てくるんですけども、それをなんていうかね、評価の結果とかですね、何を示したいからやってるのかというのがやはりはっきり書いていなかったり、皆さんの方の先ほどのローマ数字の4ページの一番下を見てもですね。
1:44:31	施設の安全上問題とならないということを我々求めているのではなくて、要は、将来活動する可能性のある断層等かに該当するかしないかというところがまさに論点なわけですよ。
1:44:44	そういうことは使いたくなくてわざと違う言葉を使われているのかどうかよくわかりませんが、そこもはっきりさせたほうがいいと思うんですよ。その上で、この側面に出てきているものの評価っていうのは根拠はこうですよという説明が要るのではないかと思います。
1:45:01	はい、電源開発タカオカでございます。イワタ調査官の言われる。
1:45:08	何か解釈別記会等に照らして、将来活動する断層等に該当するかとか、それはその通りだと思います。その上で、施設の側面に出ている三条対象だからこそ、施設の関係は会計はあるんですけども、今、
1:45:25	イワタ調査会割れた御趣旨踏まえて、再考したいと思います。
1:45:32	すいません。規制庁ナカムラですけど、ちょっと大きなところなんで、2点ほど言いますが、ちょっと資料の3-86ページは一つの例ですけども、
1:45:43	例えばこれ3-86ページでS11の分布に関わるまとめということで、結論的にS11は層厚が薄く断続的に分布し、分布範囲は限定であるって言うんですけど、これ、だから何が言いたいんだって。
1:46:00	思うんですよ。前事実は事実として確度が大事なんですけど、じゃあこれで何が言いたいのかっていうのが、他のところでも、その事業者としての考えっていうのが何もなくて、もう次のところに行っちゃうから、はてながついたらまた次の章に行っちゃうんですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:18	だからますますわからなくなる。だから何のためにこれを改定訂どういうもことが言いたいのかっていうのを、
1:46:25	ちゃんと明確にして欲しいというのが他のところももう1回ちょっと資料を見直すことになるでしょうから、そこはちょっと考えて欲しいっていうのが1点と、もう1点は大きな話なんでいいですけども、3-227ページ。
1:46:41	さっきから出てきてる風化のところですけども、これを側壁のところにも反映させるっていう形なのか、もうこれ側壁のデータなのかわかんないですけど、今これ、
1:46:53	結論的には、強風化と弱風化と新鮮で、
1:46:59	明瞭に区分されるっていうような説明がありましたけども、これ誰が見ても明瞭とは思えないですね。
1:47:06	はっきり言って、例えば針貫入のところ、左から2本の列があって、本来はこのピンクのところと弱風化の黄色のところですぱっと分かれてるのが一番それなら明瞭かなんていえるわけですね。でも、
1:47:23	ラップしてるようなところがあるわけですね。
1:47:26	ほかのところも見てると、例えば乾燥密度なんかをスパッとピンクと黄色で分けたりしてますけど、間隙率ですね、じゃあほかのところ色彩とか風化、
1:47:40	帯磁率とかっていうふうな形で見ていくと、明瞭になってないわけですね。だからやっぱりそういうところはもうひと工夫
1:47:50	あって、だから使えるとか、じゃあすんその中ではこれが、
1:47:56	評価できるとか、やっぱりちょっとそういうところですね、こう考察
1:48:03	エーッ的なところを考えると説明しないと、この結果を見て、ああじゃう指標として使えますねって、府言えないですね、この結果だけで、だからやっぱりちょっとそういうところの
1:48:18	もう1工夫考えていうのは、行ってもらいたいなっていうところだと思います。
1:48:28	はい、電源開発のタカオカでございます。
1:48:36	ちょっと欧州S11を活動性がないということ、地表付近で分けるという、おそらく審査蒸発の事例であるというところで非常に難しい問題取り組んでいて、
1:48:52	我々して不誠実交代をしているわけではございません。かなり
1:48:58	力を入れて工夫してやってきたところでテーマナカムラ審査圏んからご指摘いただいた、だから何なのところも、
1:49:06	今まで審査会合やヒアリングでやりとりさせていただいてる中で、
1:49:11	コメントいただいたりしてるんで、だからこそ少し丁寧に書こうとして抄だけ項目立てが分かれ高めかえてわかりにくくなってしまった部分もあるかと思うので、ちょっとその辺り伝わらなかったところについては、
1:49:26	そこ再考して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:30	層理建てってということかと思しますので、考えてみたいと思います。
1:49:35	それから、大きなところと言われた3-227ページ、今回の訴求ポイント、一番大事なところと我々持ってもらってますけど。
1:49:45	高齢もなかなか実態として強風化部弱風化部新鮮部実際が、まず漸移的なので、スパッと
1:49:55	分けるというのもなかなか難しいんですけども。
1:49:59	停留所企画官的に
1:50:03	審査の公務員の皆様に示せというそういうメッセージかと思しますので、
1:50:09	単にヒストグラムだけじゃなくて、
1:50:13	少しですね、統計的な
1:50:16	ちょっとこれは今ジャストアイデアですけど、処理を考えるとかですね。
1:50:24	データは少し
1:50:26	項目ですとか数とか補強するとかそういったことも場合によってはあるかなとか思いますので、御趣旨は承りましたので、ちょっと考えてみたいと思います。
1:50:40	もう少しナカムラです。これすいません、さっきの件ですけども、3-86っていうのは基本的に、
1:50:47	電発さんとしたら、
1:50:51	分布範囲は限定的であるっていうことは、これは要するに断層とかそういうのじゃないですよっていうことを言いたいってことじゃないんですか。
1:51:01	電源開発タカオカでございます。すいません。3-86件拠出しませんでした、これ前回の審査会合で、これ中村審査官とのやりとりで、
1:51:13	シームS11年分布、それがS11層準と記載していたので、実際に新年度はある部分つか層準だけの部分、そうじゃない部分。
1:51:25	そういった部分。
1:51:27	お示ししてなかったので明記する、それからさらに数十に比べて厚さが薄い迷わ処分ものなので、そういった所合意ものだということをきちんと
1:51:39	示す別というふうにそういうふうに受け取ったもので記載したところでございます。
1:51:45	ですので、この後に続いて、だから何っていうところは重要施設の側面に、
1:51:51	分布するときにも一様に厚いシームが分布するものじゃないという、そういうことを説明する前段として、あくまでも恣意的じゃないで地質データの的に投下っていうところへ一旦止めるという、そういう考えで記載したんですけども、
1:52:08	これもその辺りが伝わらなかったということですので、少し改善は考えたいと思います。来最初意図はそのような考えでございます。
1:52:40	サトウですけども、ちょっと今日はねもうこれ以上のなんていうか

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:46	お話ししたくないのでやめますけど。
1:52:50	時間ですからやめますけど。
1:52:52	例えば 3-84 とかねこれ今回今タカオカさんおっしゃられたシームS11 あり、それからシームS-11-7 市債流協会があり、それからシームS-11-なし最良化はなしってこういう分類してますよね。
1:53:10	今回からしたんですよねこれね。
1:53:12	前はしてなかったですよこれね。
1:53:15	だからこれがその後ろの議論に等々繋がるかっていう、そこが見えないんですよ。要するにこの赤のシームS11 割と高齢だけ評価すればよろしいって評価対象として、
1:53:29	少しスコープを狭めたってそういう意味なんですかね、これ。
1:53:33	今まで一緒に示す 11 してたんだけどそういう理解ですか。
1:53:39	名返すタカオカでございます質問通りでございますそういった趣旨を今、
1:53:45	この直前にお話しさせていただいたところで 3 の 83 ページございますか。
1:53:53	今話題になって 1 枚前のページ、エスターは前回まではシームS1 層準FTこの 300。
1:54:02	3 というだけで示していたんですけど、その中に①②③というこの三通りがあるんで示す 11 重要構造物の側面として見なきゃいけないのはこの①の赤の実線のラインだ。
1:54:16	ということで、前面に分布するものではないということで、重要構造物の側面に何が分布するかって、その最後の結論が、
1:54:27	決して、
1:54:29	3-221 ページ。
1:54:32	ですね。
1:54:35	ちょっと先ほど来上げ等訴求ポイント二つのうちの二つ目で胎児の絵だっていうふうに私はお話しした。この絵で重要構造物の壁に沿った運用の
1:54:47	青ハッチの脇に紺色ナガイんがあると思うんですけど、それが重要構造物の側面にこのシームS11 が出現するところ。
1:54:57	それが赤の実線の範囲
1:55:00	ということをお示ししようとあのハッチまたは白抜きでシームS11 の①がアップんと。
1:55:08	する場合には新鮮岩盤で分布しない白抜きのところもあるということを平面で示したもの。
1:55:16	これを実際にデータでお示したのは、3-224、120 行という形になるんで。
1:55:23	訴求ポイントの二つ目で私がお話しした、ここに繋がっていく形です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:28	サトウですけどもそこはねやっぱりちゃんと見えなかったんですね、最初の説明では、
1:55:35	このもう一つ言うところの。
1:55:37	この 224 とか、その後ろに繋がっていくところなんですけども、いわゆる側壁の側面のんとこの断面なんだけど、これどっかのトレンチに結局追っかけていけないといけないんじゃないですか。
1:55:51	そこがねも見えないんですよ。
1:55:54	それからもう一つはさっきも中村も言いましたけど、こういう化学的物物理的特性を、例えばねこういうところも、
1:56:01	ボーリングのでサンプリングしたところのところにこの中の折れ線グラフとかで載せるとかね、
1:56:08	なんかそういう対応しないとこれはわかんなくなかなかわかんないですよこれこのヒストグラムを全部
1:56:15	全部のデータをこれヒストグラムで表しているから、どこの場所或いはそれとこの高のものだっというその識別ができないんですよ。
1:56:28	そういうことでちょっと検討していただくことはできるんですかね。
1:56:33	はい、電源開発タカオカでございます。ちょっと 3 の 226 ページご覧いただきたいと思うんですけども。
1:56:42	ちょうど先ほど来話題になってるヒストグラムの一つ前のページです。
1:56:49	当然そんなサトウ審査会割れたところはきちんとお示しなきゃいけないと考えて 3 の 226 ページ。
1:56:57	どこからサンプルをとったものかというのは、この図で位置図を示した形でございます。
1:57:05	これが重要構造物側面、
1:57:08	それから、変状があるとこないとこのスタンダードの
1:57:12	場所についても五つ示してございまして、このページだ。
1:57:19	総務 210 ページですか。
1:57:27	平面的な位置図が 3-210 ページ。
1:57:31	です。これは
1:57:34	現地調査でもご覧いただいたTs-6 法面の辺りで 3 年に 110 ページが平面図で、その平面図のどこからサンプルしたかっていうのは 3-211 ページ。
1:57:47	ですね、深さ方向で
1:57:49	210 ページも深さ方向を示してございますけど。
1:57:53	発するしました 3 年に 121 ページは、当Ts-6 法面じゃない。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:00	PF5aトレンチ付近のボーリングデータとか、それから、法面から取ったっていう、いずれにしても変状があるところを主体とした。
1:58:12	データでさらに我々新鮮部のデータが足りなかったんで、その辺りのデータも前回、
1:58:20	佐藤審査官からコメントを受けて補強したと。そういったところでございます。1については、
1:58:26	お示してございます。これもちょっと説明がきちんと伝わらなかった点お詫び申し上げます。
1:58:32	私の頭の中ではまだこの平面と断面とそれから追っかけていくその方向みたいなのはあまり繋がってはいない。
1:58:40	残念ながら、
1:58:42	あとこれ、例えば 23 の 211 とかねこれあれですか、ピンポイントでボーリングコアからピンポイントでこうサンプリングしてるんですか。例えば、ある程度新鮮部の層ってあると思うんだけど、そういうのをある程度
1:58:58	とってはないんですか、データのとり方なんですけどね。
1:59:05	うん。どうですか。
1:59:08	確認ですけど。
1:59:09	電源開発のモチダです。
1:59:12	この 3 の 211 ページはこれTF燃えトレンチの断面ながらを含むためなんですけど。
1:59:18	これは展張の中です、詳細にやはり加入とかをやって風化を見ていたのCCFさんが水蒸気っていうのを確認するところで、その付近で弱風化部資料を法面ではリング行ってですね、資料取ったというものでございます。
1:59:35	風化を確認した上での最終的ます。
1:59:39	うん。ちょっと今度ちゃんと説明していただければと思いますけどもちょっと本来積んで話してもらわないとなかなかね。
1:59:46	わからないですね、すみません。
1:59:54	はい、規制庁のイワタですけれども、ちょっといくつかコメントも出て今日はこれ以上多分細かいことは言いませんが、先ほど来出ているその 83 ページ以降でいろいろ今回三つに分けたというんですが 8485 の平面図なんかの分布を見るとですね本当にこの分け方が正しいのかどうかというのは多分、
2:00:13	議論があらうかと思えますし、もう 1 回ですね先ほど私申し上げたような資料もあわせてですね、これまでの評価こうでした。今回、このようにデータも補強した上でどういう
2:00:26	方針で評価をするんですかというのはですね、わかるようなまずは全体の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:32	なんて言うんですかねまとめ資料みたいなのは用意していただいた上で個別の話をしていただければいいんじゃないかと思いますので、ちょっと次回のヒアリングに向けてですね準備をお願いしたいと思います。あとちょっとある程度ね。
2:00:52	電源開発タカオカですけれども、
2:00:55	規制庁の岩田です。すいませんと次回のヒアリングなんですけどね今回パッケージでつけていただいているんですけれども、議論になっているところがどうやらのS-11に絞られるのであればですね、その部分の
2:01:07	抜き書きでもいいと思いますし、あと、
2:01:10	コメント回答にあるようなものがですね一部ちょっと
2:01:15	はみ出ちゃうものがあればですねそれはそれで別途つけていただいてもいいですし、ちょっと資料はですね、何か不パッケージつけていただくといえますからじゃないかと思いますがそのあたりも少し工夫してですね、
2:01:25	資料の準備をしていただければと思いますがいかがでしょうか。
2:01:32	玄海市タカオカです。
2:01:37	全体のパッケージで話さなきゃいけないと困るなと思いつつ、ちょっと今言われた御趣旨はわかるんですけど、実際の
2:01:45	具体的な資料のイメージがちょっとどうしようかなという、ちょっとんかも考えるところがあるんでちょっと御収集まいてそれは別途考えたいと思います。要はいろいろ規制庁さんからご意見ご質問で多分そこがワンスルーで通話料な説明じゃないとわからないと。
2:02:02	まあそういう御趣旨かと思いますので、特に訴求ポイント。
2:02:07	ですね、それに繋がって最後、将来活動する断層等に該当しないということをきちんと示すべしとそういう御趣旨だと思いますので、その点がわかるようなものを
2:02:17	用意せよというふうに取りましたので、ちょっと考えたいと思います。
2:02:24	はい、ぜひよろしく願いいたします。特に先ほどもおっしゃっておられたように一つのね、S11というグループの中で今回分割するというちょっとかなり珍しいことやらなきゃいけないので、これらの根拠もしっかりねつけていただかないと我々としても納得いくような結果結論がですね至れないと思うので、
2:02:40	あそこも資料の構成も含めてですね、工夫をしていただければと思いますのでよろしく願いいたします。
2:02:50	はい、電源開発タカオカです。はい、承知いたしました。検討しています。
2:02:57	はい、じゃあえっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:59	地質地質構造等のヒアリングの関係で何かそちらから追加で何かありますか。
2:03:05	我々からもういいです。
2:03:09	はい。で繰り返すタカオカです。時間も時間たちますので、
2:03:15	以上で
2:03:16	結構です。はい、じゃあヒアリングについては以上にしたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。